

小委員会設置申請書

作成者：太田博章

1. 名称 英文名称は Subcommittee on～を 付記	固定・積載荷重小委員会	英文 名称	Subcommittee on Dead Loads and Live Loads		
2. 所属本委員会 (所属運営委員会)	構造本委員会 (荷重運営委員会)				
3. 設置期間	2020年 4月 ～ 2024年 3月				
4. 設置目的	(具体的な目標) ICT 技術の飛躍的な発展に伴い、建築の利用形態は大きく変化している。また、様々な建築材料が新たに開発・実用化されている。このような中、固定・積載荷重に関わる最新の情報を調査・整理して、有用な最新の設計資料としてまとめていく必要がある。また、これらの成果も含め、構造物の安全性を確保するための基本的な情報を提供することを目的とし、以下を実施する。 ・最近の用途に対応する固定・積載荷重の調査 ・積載荷重の数理モデルの構築 ・荷重組み合わせや確率論における積載荷重の見直し				
5. 委員会の位置付け	(学会に設置する必要性、緊急性、新規制及び委員会の性格) 固定荷重は新素材や新技術の開発のため、積載荷重は人間の生活に基づくため、社会の変化に対応して常に変化しており、継続的な研究が必要である。また、建築物の多様化、設計手法や評価手法の多様化に対応した一貫した理論に基づく設計荷重の評価が求められる。建築学会としては、こうした状況に対応した具体的な設計荷重評価手法を提示する必要がある、本委員会を学会に設置する必要性は高い。				
6. 委員会の構成 *確定している委員候補者を役職別に五十音順で記載してください。会員番号も必ず記入をお願いします。	(委員構成の考え方、分野別構成、地域性、公募制等) 積載荷重を学術研究の対象としている研究者および設計実務者。積載荷重にかかわる構造的視点から積極的に参画できれば分野は問わない。地域性も問わない。公募を実施する。				
	No	会員番号	役職	氏名	勤務先
	1	8311617	主査	太田 博章	株式会社コスモスイニシア
	2	0212047	幹事	小久保 彰	建築技術教育普及センター
	3	7600932		石川 孝重	日本女子大学
	4	1917852		小川 政彦	株式会社竹中工務店
	5	1631414		菊岡 陽二郎	株式会社竹中工務店
	6	9710165		菊地 岳史	株式会社松田平田設計
	7	8415550		高橋 徹	千葉大学
	8	8903333		久木 章江	文化学園大学
	9	8606046		山村 一繁	首都大学東京
	10	8308787		横山 裕	東京工業大学
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				

7. 活 動 計 画	<p>(活動の具体的方法、内容)</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既往の研究の整理 ・ 固定・積載荷重に関する現状の実情調査・分析 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実情調査・分析結果を基に、課題の洗い出しとその解決にむけた調査・研究の設定と実施 <p>3年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施した調査・研究結果の考察および評価方法の検討 <p>4年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物荷重指針および建築物荷重指針を活かす設計資料1の改訂に向けた準備 		
8. 期待される成果と公表方法	<p>(内容と公表形態)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の最新の情報を反映した設計荷重の提示 ・ 現状に即した固定荷重設定方法の提示 ・ 現状に即した積載荷重設定方法の提示 ・ 荷重組み合わせや確率論における積載荷重の評価 <p>以上の成果を、HP等で公表する。</p>		
<p>9. 設置を予定するWG</p> <p>英文名称は Working Group を付記してください。(WG がなければ記載不要。WG が 2 つ以上ある場合はこの欄を追加してそれぞれ記載すること。必要なら各 WG ごとに小委員会設置申請書と同様の書式のを添付する)</p>	<p>名称：</p>	<p>英文名称</p>	
<p>目的：</p>			
<p>期間： 20 年 月 ～ 20 年 月</p>			

注 1) 各項目に関して提示された事項に注目して記述してください。

注 2) 合同小委員会、研究会を設置する場合にもこの書式を準用してください。